

# 埋文よこはま24

- ▶大原遺跡の調査結果
- ▶これは〇〇ひゃ！鉄削
- ▶地面の下にはなにかある  
「港南・南区の遺跡」展開催記録
- ▶催し物ご案内



おっ ぱら い せき

## 大原遺跡

の調査成果

大原遺跡の空撮写真 奥は第3京浜道路

—弥生時代後期の環濠集落—

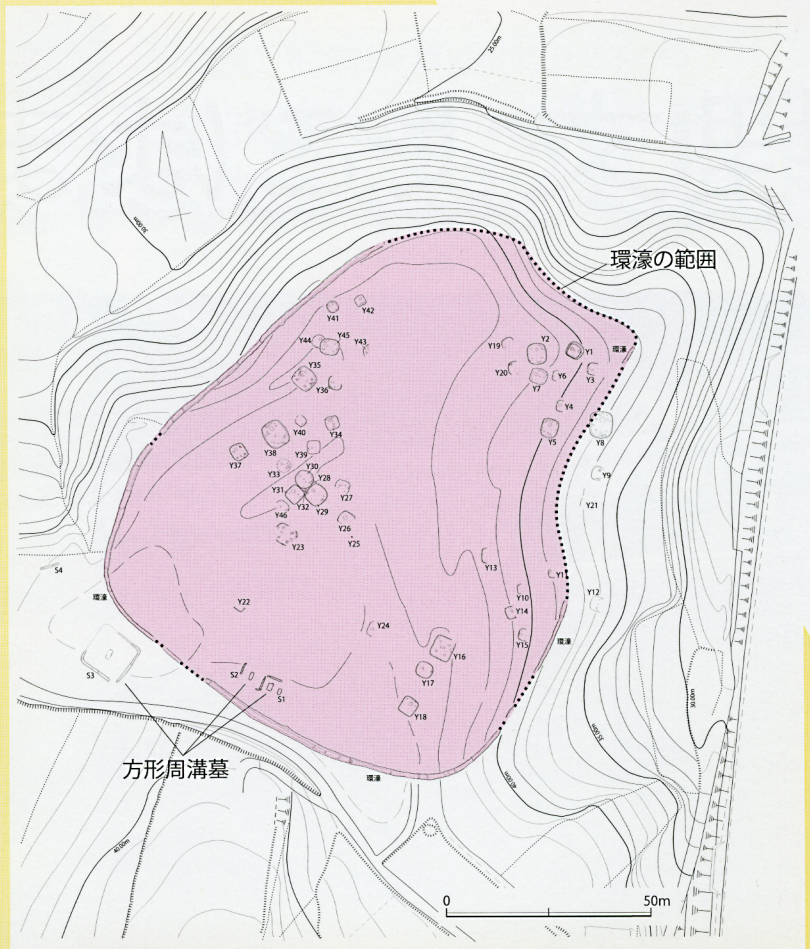
大原遺跡は横浜市都筑区早渕一丁目（調査当時港北区新吉田町）に存在した遺跡です。弥生時代後期の環濠集落（周りに溝をめぐる集落）として著名な遺跡で、学界でもしばしば取り上げられてきました。港北ニュータウンの建設に伴って、1981年に発掘調査されましたが、調査中にも周辺の造成工事が進められ、上の写真では遺跡範囲だけが陸の孤島のように残されています（上半分は先に調査が終わりすでに削平されています）。この遺跡からは方形周溝墓と呼ばれる墓も見つかり、当時としては貴重品である鉄の腕輪や玉類も出土しています。 →次頁へつづく

## ◆大原遺跡からわかること

おっぱら かんこうしゅうらく  
大原遺跡は溝に囲まれた「環濠集落」です。

環濠の内側には<sup>たてあなじゅうきよあと</sup>竪穴住居跡が46軒見つかリ、住居と環濠の出土土器の特徴から、弥生時代後期後半（西暦2世紀ごろ）の集落ということがわかりました。方形周溝墓<sup>ほうけいしゅうこうぼ</sup>が4基あり、副葬品として出土した鉄釧（鉄の腕輪）や玉類（アクセサリー）から、ムラの中でもある程度階層分化が進んでいたことと、彼らが貴重品を手に入れられるような交易ルートを持っていたことなどがわかります。

大原遺跡のような後期の環濠集落の環濠は、著名な大塚遺跡のような中期のものと比べると、溝の幅も深さも約2分の1程度です。このことから、後期環濠の防御性を疑う意見も多いのです。しかし、大原遺跡は早濶川の低地からやや奥まった高台に営まれ、まるで周囲を警戒するような立地です。弥生時代後期は中国の史書に見える「倭国大乱」<sup>わこくたいらん</sup>の時期に相当し、関東地方でもムラ同士の間にある程度の緊張関係があったと言えそうです。



大原遺跡全体図（環濠で囲まれた範囲はおおよそ長軸130m、短軸110m）  
集落の北東部側は残りが悪かったが、後期環濠集落の全体形がおおよそ分かる貴重な調査例。住居跡も本来は倍程度あったと見られる。

大原遺跡の報告書刊行を記念して12～1月に  
展示・講演会を催します。詳しくは最後のページの「催し物案内」をご覧ください。



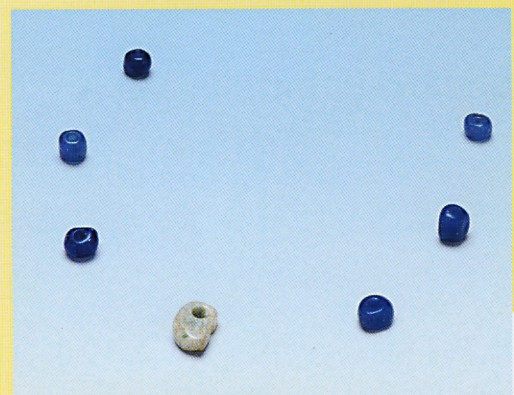
弥生時代後期後半の竪穴住居跡（33号住居跡、径3.2m）  
このような小さな住居では柱穴が見つからないことが多い。



集落をめぐる環濠（幅約2m、深さ約1m）  
環濠から出土する土器から、終末期に埋まったことが分かる。



大原遺跡出土の弥生土器（壺）  
ベンガラで赤彩され、複雑な文様が描かれた華麗な土器が多い。弥生時代後期は各地で独自の装飾壺が作られた。



方形周溝墓の副葬品（2号方形周溝墓出土玉類）  
中央のヒスイの勾玉は北陸産のものがもたらされている。青いのはガラス製のビーズ。鉄釧については次頁参照。

# これは〇〇じゃ！

## てつくろ ～「鉄釧」編～



ノシチ博士

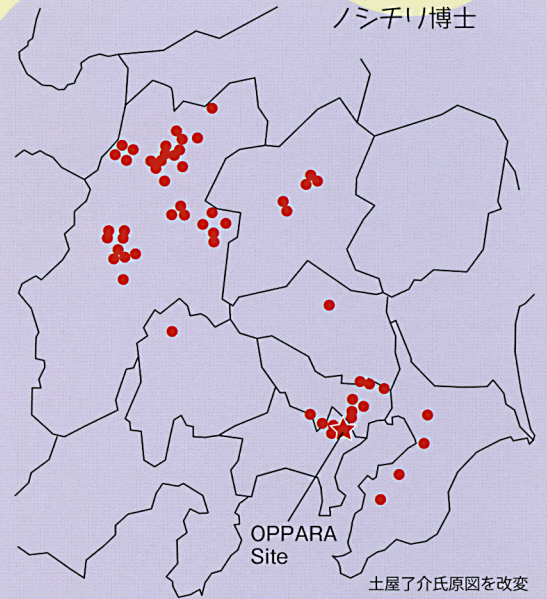
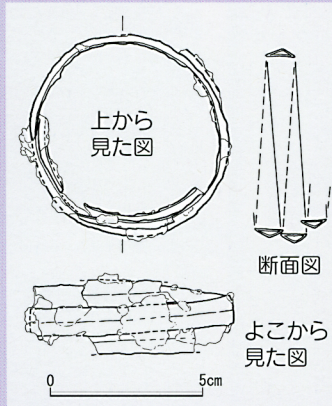
「鉄釧」とは鉄でできた「うでわ」のことじゃ！  
 大原遺跡から発掘されたものは、さびついてこわれ  
 ていたのじゃが、もともとは「らせん」状に巻かれ  
 ていたのじゃ！このようなうでわは数が少なく、弥  
 生時代には大変貴重な品だったようじゃ。ムラのリー  
 ダーのような人しか持っていなかったかもしれんの。

※残りの良いものは、10段以上巻きあげているものもあります。



大原遺跡出土の鉄釧

1900年前くらいの昔の鉄製のうでわ。



「らせん状鉄釧」の分布図

現在およそ60例ほどが知られている。らせん状のものは西日本にはなく、東日本、とくに長野県から南関東地域に限って出土している。弥生時代後期において東日本の独自性を表す遺物として注目されている。

## 地域展「地面の下にはナニかある 港南・南区の遺跡」展を開催しました！

7月15日～7月26日に上大岡駅4F港南区民文化センター「ひまわりの郷」で開催しました。この展示はこれまで何年かけて横浜市内を巡回してきた地域展の、最後の2区、港南・南区の遺跡について紹介した展示です。港南区下永谷一丁目にあった殿屋敷遺跡群や、現在の港南台の住宅地にあった港南台遺跡群をはじめとして、30余りの遺跡について出土品や写真パネルによってわかりやすく解説しました。また、小学校に所蔵されていたり、地域にお住まいの方々が収集したりした土器や石器などの遺物も今回展示させていただきました。

これらは地域の歴史を語る上で欠くことのできないかけがえのない資料であり、これらを地域の方々のご協力を得ながら展示できたことは、埋蔵文化財センターにとっても貴重な経験となりました。おかげさまで、多くの方々に展示を見ていただき、盛況のうちに無事会期を終えることができました。



会場の様子



港南区下永谷6丁目遺跡出土の縄文土器

# 催し物ご案内

## ○展示 平成23年度「横浜の遺跡展」

### 弥生時代後期の横浜

弥生時代後期は動乱の時代。港北ニュータウンの発掘成果を中心として横浜市北部の集落動態について展示します。

主な展示品：大原遺跡・北川貝塚・北川表の上遺跡・権田原遺跡・関耕地遺跡・朝光寺原遺跡・牟尻台遺跡・E5遺跡などの出土遺物

◇会期：12月10日(土)～1月9日(月・祝)

◇会場：横浜市歴史博物館 企画展示室  
※横浜市指定・登録文化財展と同時開催

◇観覧料：無料

### 関連イベント

#### ・講演会「横浜市北部の弥生時代後期を探る」

展示に関連して、横浜市北部域の弥生時代後期の集落動態をテーマに講演会を催します。

講師：安藤広道（慶應義塾大学准教授）  
古屋紀之（埋蔵文化財センター）

◇日時：1月8日(日)  
13：30～16：15（13：00開場）

◇会場：横浜市歴史博物館 講堂

◇定員：150名

◇費用：500円（資料代）

◇申込：往復はがきに講演会名・住所・氏名（ふりがな）・電話番号記入の上、右下の埋蔵文化財センター住所へ

◇締切：12月20日(火)必着

#### ・フロアレクチャー（調査研究員による展示解説）

◇日時：12月17日(土)11：00～、14：00～  
1月8日(日)11：00～  
1回40分程度

◇会場：横浜市歴史博物館 企画展示室

◇費用：無料

◇定員：先着30名

## ○講座 平成23年度「横浜の考古学」

### すまいと建物 —原始から古代まで—

遺跡から発見される竪穴住居や掘立柱建物跡。原始～古代までの様々な住居やその他の建物について考えます。

11月12日(土) 旧石器～縄文時代

第1回 移動する暮らしから定住へ 山田光洋  
第2回 様々な住居・様々な建物 石井 寛

11月19日(土) 弥生時代～古代

第3回 竪穴住居～炉からカマドへ～ 鈴木重信  
第4回 弥生時代以降の掘立柱建物 古屋紀之

※講師4名は当埋蔵文化財センター職員です

◇日時：11月12日・19日(土) 2日間全4回  
13：30～16：00（13：00開場）

◇会場：横浜市歴史博物館 講堂

◇定員：150名（2日とも参加できる方）

◇費用：1,000円（資料代）

◇申込：往復はがきに講座名・住所・氏名（ふりがな）・電話番号記入の上、下の埋蔵文化財センター住所へ

◇締切：11月1日(火)必着

## ○体験学習

### たのしい勾玉づくりと拓本とり

青田石をけずって勾玉をつくり、本物の土器片を使って土器の文様を写しとります。大人だけの参加でもOK。

◇日時：12月23日(金・祝)

午前の部 9：30～12：00

午後の部 13：30～16：00

◇対象：小学生以上

◇会場：埋蔵文化財センター 研修室

◇定員：午前・午後各15名（応募超過の場合は抽選）

◇費用：400円

◇申込：FAXか往復はがきにて、体験学習名・住所・氏名（ふりがな）・電話番号・参加人数・希望する時間を記入の上、下の埋蔵文化財センターへ。必ず「埋文よこはま」を見て知った旨を明記してください。

◇応募期間：11月15日(火)～12月15日(木)

「埋文よこはま」は横浜市域で発掘調査された遺跡や出土した遺物を紹介する広報紙です。

## 埋蔵文化財センターのご案内

### JR根岸線「港南台」駅

2番バス乗り場より神奈中バス港36・86系統「上郷ネオポリス」行き、または港40系統「栄プール」行き、「上郷ネオポリス」下車徒歩1分

### 京浜急行「金沢八景」駅

国道沿い1番乗り場より神奈中バス金24・25系統「上郷ネオポリス」行き、終点「上郷ネオポリス」下車 徒歩1分

- ・見学等の施設利用は、平日の9～17時となっています（受付16時まで）。
- ・施設利用にあたっては、事前にご連絡ください。

## 埋文よこはま24

発行日 2011年8月31日

編集・発行 公益財団法人 横浜市ふるさと歴史財団  
埋蔵文化財センター

〒247-0024 横浜市栄区野七里2-3-1

TEL. 045-890-1155

FAX. 045-891-1551

ホームページ <http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/maibun/index.html>